

あけましておめでとうございます

笑顔いっぱいに登園する子どもたちの表情と冬休みの出来事をたくさん話してくれる姿から、楽しい冬休みを過ごすことができたことが感じられました。

いよいよ3学期には最後の大きな行事である『作品展』がありますね。早速作品展に向けての活動も本格化していきます。子どもたちはすでに、発表会後の話し合いにより作りたいものが頭の中にあふれています。こちらからの提示がなくとも、子どもたちなりに様々な形や材料の案があがり、私たち担任もどのような作品が完成するのか大変楽しみです。子どもたちによる、「こんなもの作りたい!」「こうしてみたらどう?」という素敵なアイデアを集め、最後の大きな行事としてさらにみんなの心を一つに



して頑張ろうという思いで取り組んでまいりたいと思います。最後の3学期、子どもたちの更なる成長を目指し保育に努めてまいりますので、本年もどうぞよろしくお願いいたします。(年中組チーム担任 福田 莉子)

年中組で過ごす期間も残り僅かとなりました。日々の保育の中で、子どもたちの成長を感じる機会も増え、お兄さん・お姉さんになったことを強く感じております。友だちを思いやり、相手の気持ちに気づくことができるようになってきたからこそ、自分たちで話し合いができるようになってまいりました。話し合いでは、自分の意見とは違った意見や思いを知ることで気づくこともあります。その気づきを大切に笑顔いっぱいの3学期になるよう進級を見据え、保護者の皆さまと子どもたちの成長を見守って行きたいと思っております。本年もどうぞよろしくお願いいたします。(年中組チーム担任 小森 風音)



年中組として過ごすのも残り3学期のみとなりました。3学期は作品展に向けての作業を進めていく中で、子どもたちと共に考え、子どもの“作りたい”を実現できるよう援助してまいります。子どもたちは2学期に行われた運動会をはじめ、発表会での年長組さんの演じる姿から早く年長組になりたいという気持ちが高まっており、自分の支度や保育者のお手伝いを積極的に行うようになってきました。残りの保育は年長組への進級を見据えての園生活となりますので子どもたちが笑顔で楽しく過ごすことが出来るよう、子どもたちと向き合い気持ちに寄り添いながら保育をしてまいります。本年もどうぞよろしくお願いいたします。(年中組チーム担任 三並 由香)

直前インフォメーション

○個人面談

2月13日(月)～24日(金) 土日を除く

詳細は、後日手紙をアップしておりますのでご確認ください。

○作品展 2月4日(土)

詳細は手紙をHPにアップしておりますので、ご確認ください。

12月号②でもお伝えさせていただきました廃材につきまして、引き続き子どもたちの作品作りのために以下の素材の中でご家庭にあるものを、**1月25日(水)まで**にお持ちいただけますと幸いです。ご協力の程よろしくお願いいたします。

必要材料：牛乳パック・ペットボトル・トレー・ゼリーやヨーグルトのカップ・お菓子の箱 等



<お知らせ>

年中組担任の福田莉子先生がご結婚されました。園では、今まで通り「福田先生」とお呼びください。



1月の目標

- ・冬の自然に興味・関心を持ち、生活や遊びに取り入れる
- ・様々な素材や道具を使うことを楽しみ、作り上げる達成感を味わう



1月の歌紹介

子ども園で歌っている歌です。

ご家庭でもお子様と一緒に歌ってみてくださいね！

♪雪

文部科学省歌

編曲 三森 桂子

1, ゆきやこんこ あられやこんこ

ふってはふってはずんずんつもる

やまものはらもわたぼうしかぶり

かれきのこ らずはながさく

2, ゆきやこんこ あられやこんこ

ふってもふってもまだふりやまず

いぬはよろこびにわかけまわり

ねこはこたつでまるくなる



♪ごんべさんのあかちゃん

作詞 不詳 アメリカ民謡

編曲 前田 菜月

1, ごんべさんのあかちゃんがかぜひいた

ごんべさんのあかちゃんがかぜひいた

ごんべさんのあかちゃんがかぜひいた

とてもあわててしっぶした



1月の絵本

子どもたちが興味を持っている絵本を

先生たちのおすすめの絵本を紹介いたします！

『ばばあちゃんのおもちつき』

著者／編集：さとうわきこ 出版社：福音館書店

子どもたちも大好きなばばあちゃんの絵本です。この作品は、お餅つきをテーマとした絵本になります。もち米を使ってどのようにお餅を作っていくか。また、地方によって異なる文化についても紹介している絵本になります。幼い子どもでも簡単に作れるものが多く、お料理や食べることが好きな子どもにぴったりの作品です。是非お家でも作ってみてくださいね♪



食育について

給食の際に子どもたちに伝えていることを紹介しております。

ぜひご家庭でもおこなってみてくださいね。



給食のお代わりをいっぱいしてくれる年中組の子どもたち。

日々の給食の中でも、苦手な給食がある子もいます。

時には苦手なものを食べ切れず残してしまうこともありましたが、子どもたちに自分の食べることができる量や苦手なものは減らすなど、配膳されたものを完食できるように伝えています。

○完食できた喜びを感じる

完食できたことを感じ、自信を高めることです。小さなことも成功体験として子どもたちに言葉にして伝えるようにしています。苦手なものが一口食べられたというのも大きな成功体験になります。

○丈夫な身体を作るために残さず食べよう

残さずに食べることで「いいこと」があります。例えば、体が大きくなるために栄養が必要であることや、野菜を食べることで風邪をひかなくなる、給食室の先生が残さず食べることで喜ぶ、などを子どもたちが理解できるように伝えています。



○命をもらっていることや大切にお世話している人がいる

子どもたちには、動物や植物など食べるものから命をもらって食べていることや動物、野菜などの植物を大切に毎日お世話している方がいるから美味しいお給食やご飯を食べることができている。その感謝の気持ちを持って「いただきます」や「ごちそうさま」が言えるように伝えています。

○自分の食べられる量を考える

美味しかったからとお代わりをしすぎてしまい残してしまうことや苦手なものがあるときには、食べる前に減らすことで残飯が減り、お給食を食べ切ることができるように自分で考えられるようにしています。

☆ご家庭でできる食品ロスとして、

お子様と一緒に買い物に行った際には、すぐに食べ切るものはぜひ賞味期限の近いものから買うことで食品ロスを防ぐことができるかもしれません！

本年も、たくさん食べて丈夫な身体を作っていきましょう♪

